

「AIに質問する」から 「AIに仕事を任せる」へ

小さな会社こそ、今から始めたい業務の半自動化

AIは「文章作成」の次の段階へ

いま起きている変化は、ChatGPTが便利になったというだけではありません。問い合わせ対応、集計、報告書、顧客案内など、一連の仕事の流れにAIを組み込む段階に入りました。

1 なぜ、今から始めるのか

人手不足は一時的な問題ではありません。特に少人数の会社では、一人の退職や業務の属人化が経営に直結します。人が足りなくなってから考えるのではなく、今いる人数で回せる仕組みを先に作るのが重要です。

人を減らすためではなく、仕事を軽くする

3人の仕事を3人のまま楽に回す。
それが小さな会社の現実的なAI活用です。

2 効率化と自動化の違い

効率化

メールをコピーしてAIに回答を書かせる

半自動化

受信☑分類☑回答案☑確認☑返信☑記録

3 まずは「月10時間」の仕事から

毎週2〜3時間かかる作業を半分にできれば、年間約60時間。3つの業務なら年間約180時間です。経営者の時間を、営業・顧客対応・商品開発・経営判断へ戻せます。

83.2%

AI導入企業が時間短縮を実感

☑中小企業基盤整備機構 2026年3月調査

4 自動化しやすい仕事

- 問い合わせを分類し、回答案を作る
- 見積書・報告書へ情報を自動反映する
- 会議の録音から議事録とToDoを作る
- 記事からSNS・ニュースレター案を作る
- 領収書や請求書を読み取り、一覧化する
- 顧客情報から定期案内の文章を作る

5 自動化候補チェック

- ☐ 毎週・毎月、同じ作業を繰り返している
- ☐ コピー＆ペーストやExcel転記が多い
- ☐ 同じ形式のメールや資料を何度も作る
- ☐ 社長や特定の社員しかやり方を知らない
- ☐ 判断より、判断前の準備に時間がかかる

3つ以上あれば、業務を整理する価値があります。

「この仕事、AIでもっと楽にならないかな？」

完全自動化ではなく、AIが作業し、最後だけ人が確認する形でも十分です。サンプレスコンサルティングでは、現在の仕事を確認し、AIに任せる部分と人が判断する部分を一緒に整理します。